

株式会社ギガプライズ

2023年3月期 1Q 決算補足資料

2022年8月10日

【免責事項】

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

【注】

本資料に記載されている金額、戸数については表示単位未満を切り捨てており、割合（％）については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。



2023年3月期 1Q 連結業績について

連結売上高

4,092 百万円

前年同期比 **+11.1** %

連結営業利益

643 百万円

前年同期比 **+39.1** %

ISPサービス提供戸数

93.8 万戸

前期末比 **+4.2** %

連結業績サマリ 前年同期比較

単位：百万円	2023年3月期 1Q実績	2022年3月期 1Q実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	2023年3月期 通期 予想
売上高	4,092	3,684	408	11.1%	17,370
営業利益	643	462	180	39.1%	2,500
経常利益	633	452	181	40.0%	2,450
親会社株主に 帰属する四半期純利益	380	317	63	20.0%	1,650

2023年3月期1Qの業績は、前年同期比売上高11.1%増、営業利益39.1%増と増収、増益

売上高は、主力である集合住宅向けISPサービスの提供戸数拡大、及び不動産事業の成長もあり、増収。

営業利益は、売上高の増加、原価率の低減（1.1%減）及び全社費用等の販管費減少により、増益。

■売上高

- ・ HomeIT事業の売上高については、集合住宅向けISPサービスのランニング収益の積み上げ等により、前年同期比 11.1%増の 4,049百万円（前年同期 3,644百万円）で着地。
- ・ 不動産事業の売上高については、社宅管理代行サービスの取扱件数の増加により、前年同期比 6.9%増の売上高 39百万円（前年同期 37百万円）で着地。
- ・ 重要指標の集合住宅向けISPサービス提供戸数は、今期計画 15.0万戸増に対して、3.7万戸増（進捗率 25.2%）と順調に推移。

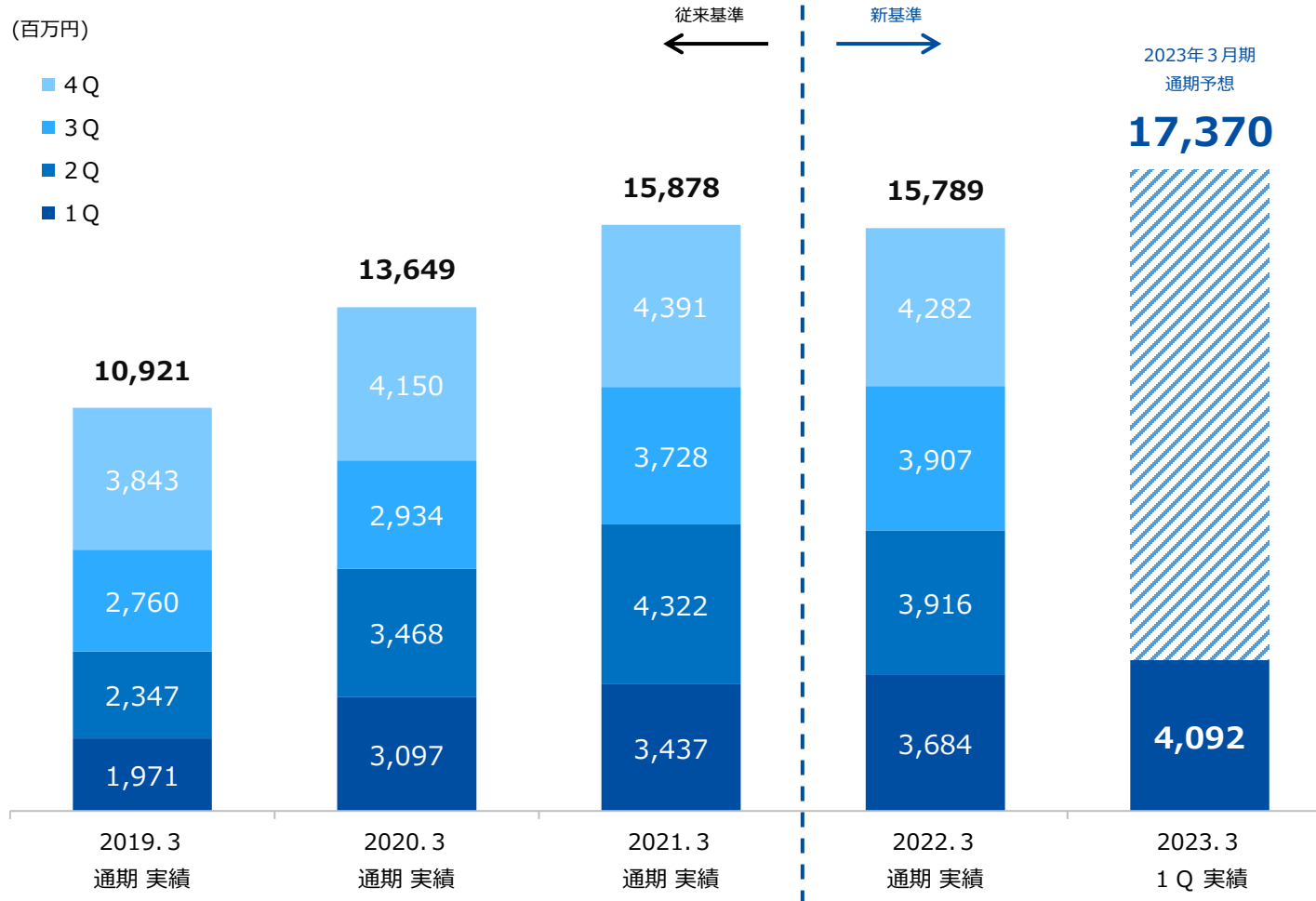
2022年3月期末比 37,790戸増 累計 938,302戸

■営業利益

- ・ HomeIT事業のセグメント利益については、売上高の増加及び減価償却費（リース資産）の減少等による原価率の低減により、前年同期比 19.4%増の 983百万円（前年同期 823百万円）で着地。
- ・ 不動産事業のセグメント利益については、売上高の増加及び業務の効率化等により、セグメント利益 5百万円（前年同期はセグメント損失 1百万円）に改善。
- ・ 販売費及び一般管理費については、運用体制における費用（外部委託費等）の効率化を図ったことにより、前年同期比 4.7%減の 518百万円（前年同期 543百万円）。

連結売上高推移（四半期別）

OEM提供先企業との連携強化によるサービス提供戸数拡大に注力するとともに、新規顧客の獲得の推進により、増収



連結売上高

4,092 百万円

前年同期比 **+11.1%**

報告セグメント売上高

HomeIT事業 **4,049** 百万円

前年同期比 **+11.1%**

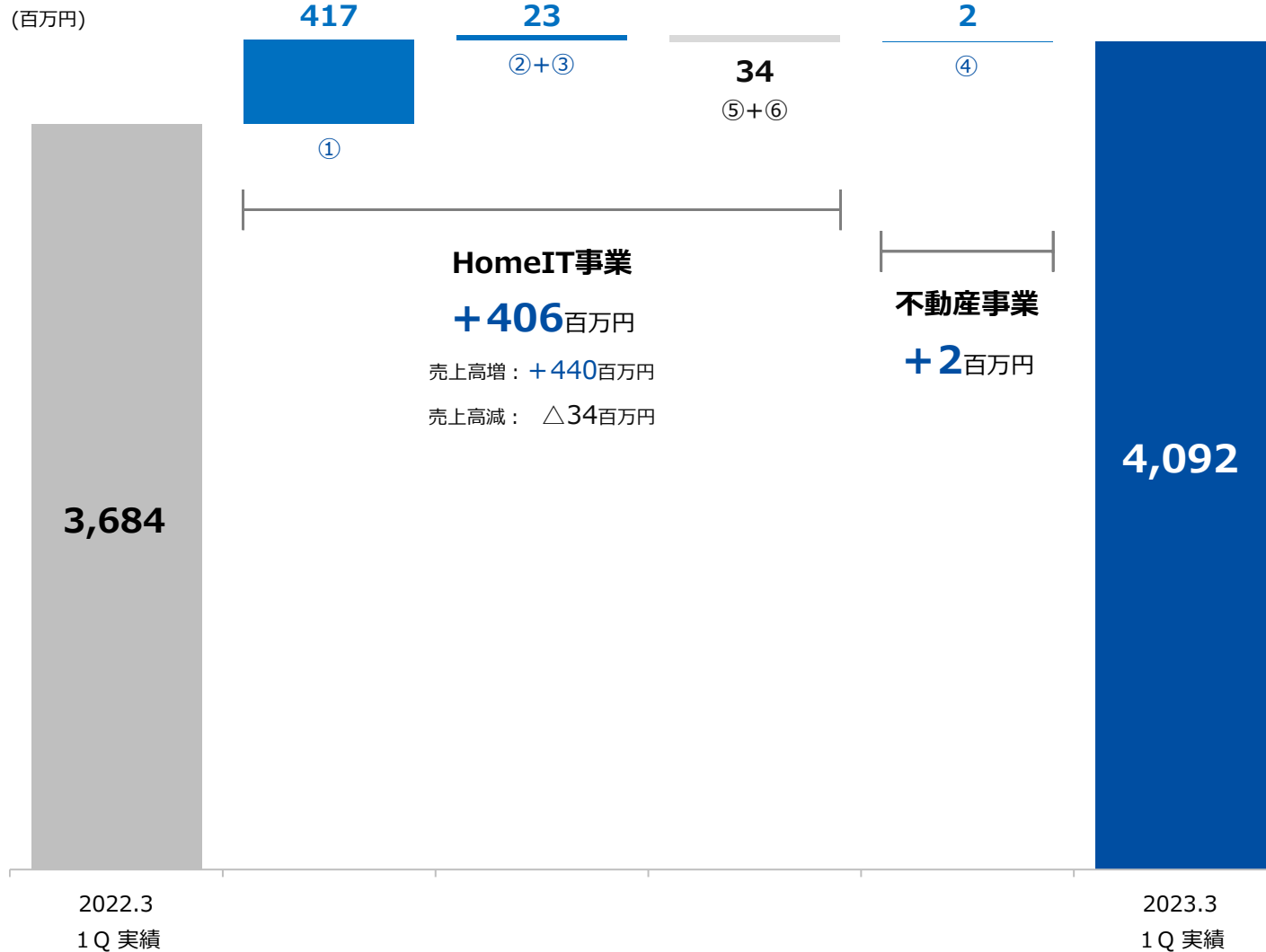
不動産事業 **39** 百万円

前年同期比 **+6.9%**

その他の事業 **2** 百万円

前年同期比 **+4.1%**

連結売上高 前年同期比較



主な増減要因

主な増加要因

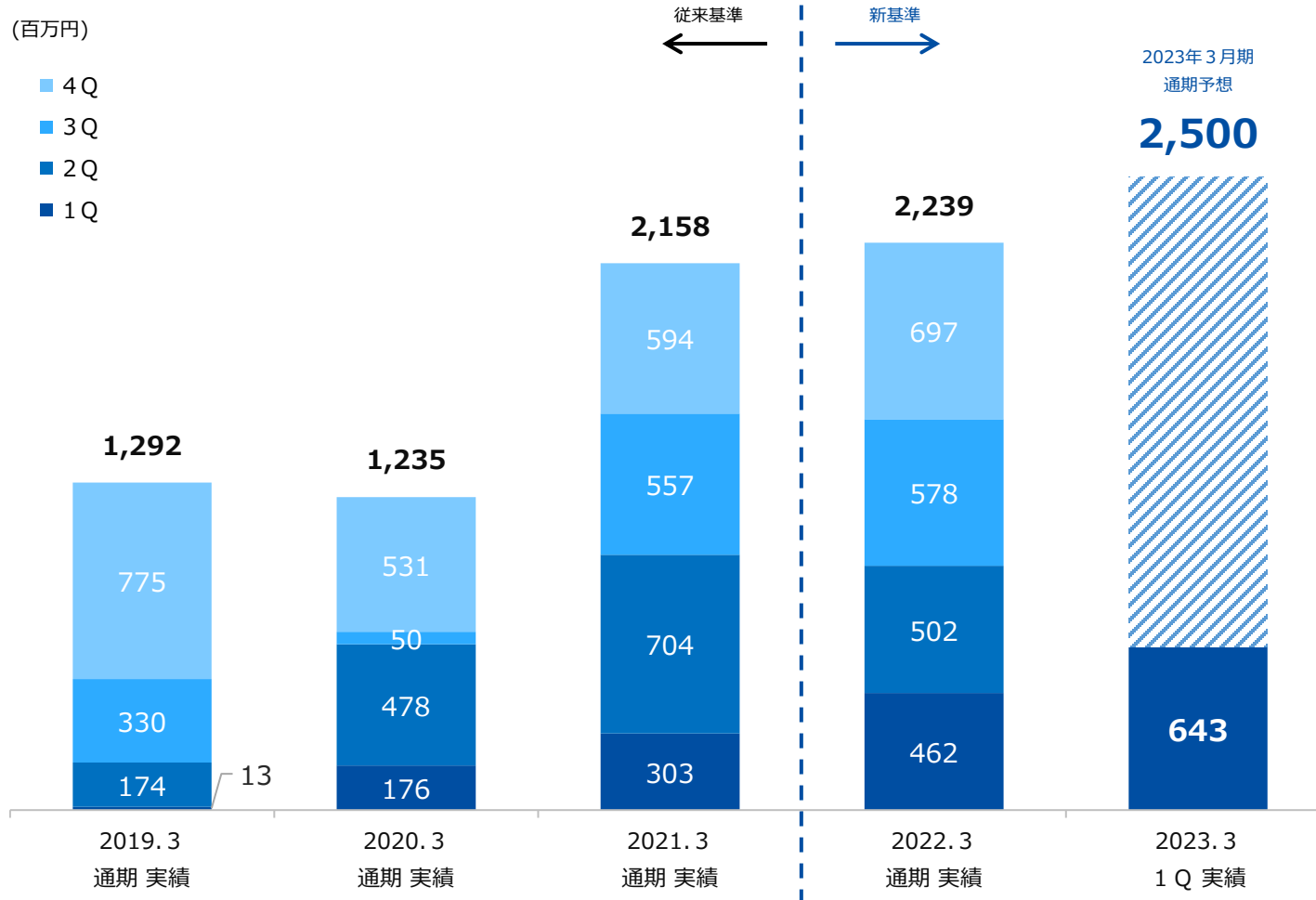
① 集合住宅向けISP ランニング収益 増	+417	↑
② クラウドカメラ等ソリューションサービス 売上増	+22	↑
③ システム開発 売上増	+1	↑
④ 不動産事業 売上増	+2	↑

主な減少要因

⑤ 集合住宅向けISP イニシャル収益 減	△13	↓
⑥ ネットワークサービス 売上減	△21	↓

連結営業利益推移（四半期別）

HomeIT事業における集合住宅向けISPサービスの拡大に加え、減価償却費、全社費用等の減少により、増益



連結営業利益

643 百万円

前年同期比 **+39.1 %**

報告セグメント利益

HomeIT事業 **983** 百万円

前年同期比 **+19.4 %**

不動産事業 **5** 百万円

前年同期 **△1** 百万円

その他の事業 **0** 百万円

前年同期比 **△10.5 %**

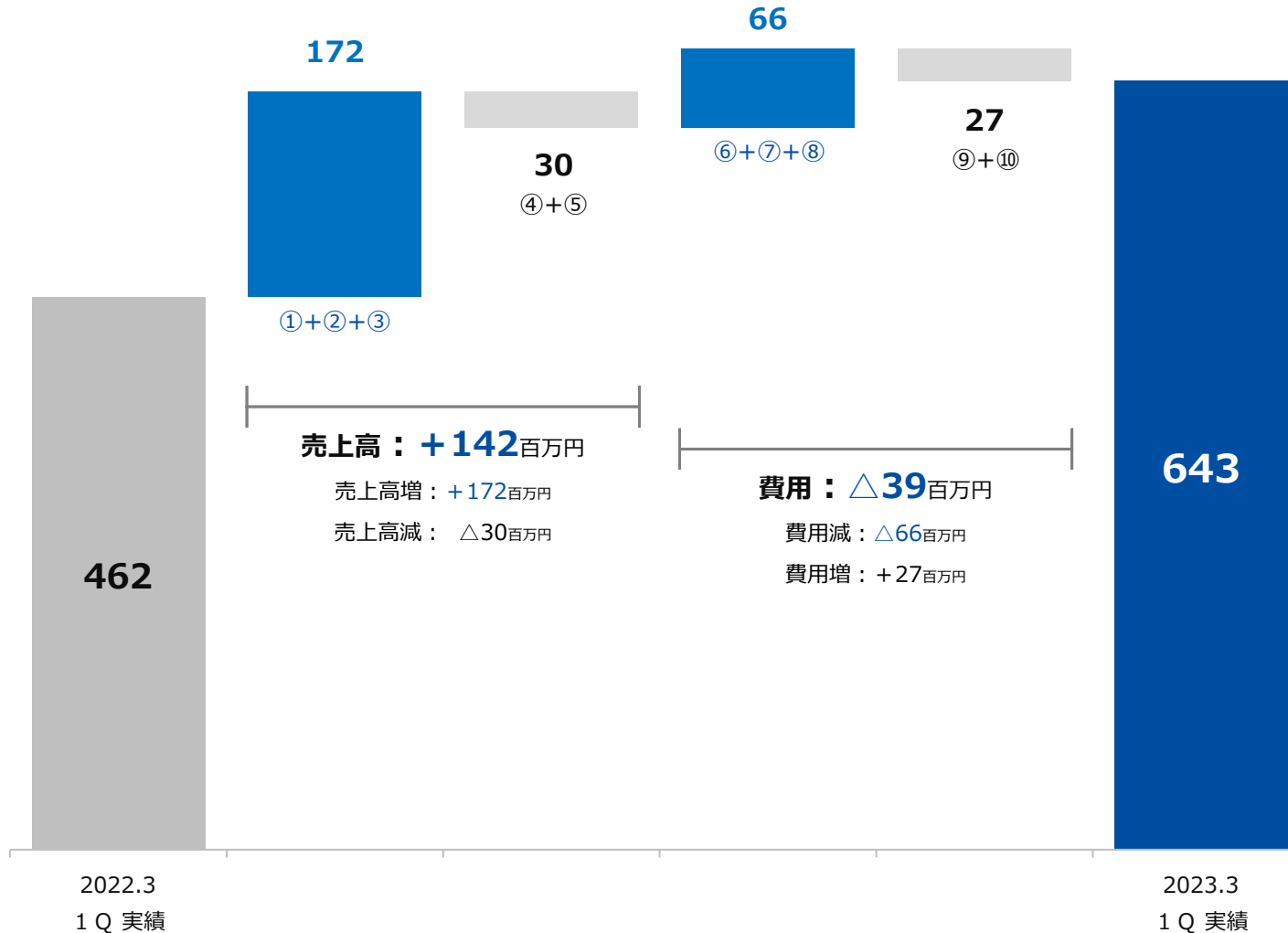
調整額※ **△345** 百万円

前年同期比 **△3.8 %**

※ 調整額：各報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）になります。

連結営業利益 前年同期比較

(百万円)



主な増減要因

売上高の増減による主な要因

① 集合住宅向けISP ランニング収益 増	+160 ↑
② クラウドカメラ等ソリューションサービス 売上増	+5 ↑
③ 不動産事業 営業利益増	+7 ↑
④ 集合住宅向けISP インシャル収益 減	△18 ↓
⑤ ネットワークサービス 売上減	△12 ↓

費用の増減による主な要因

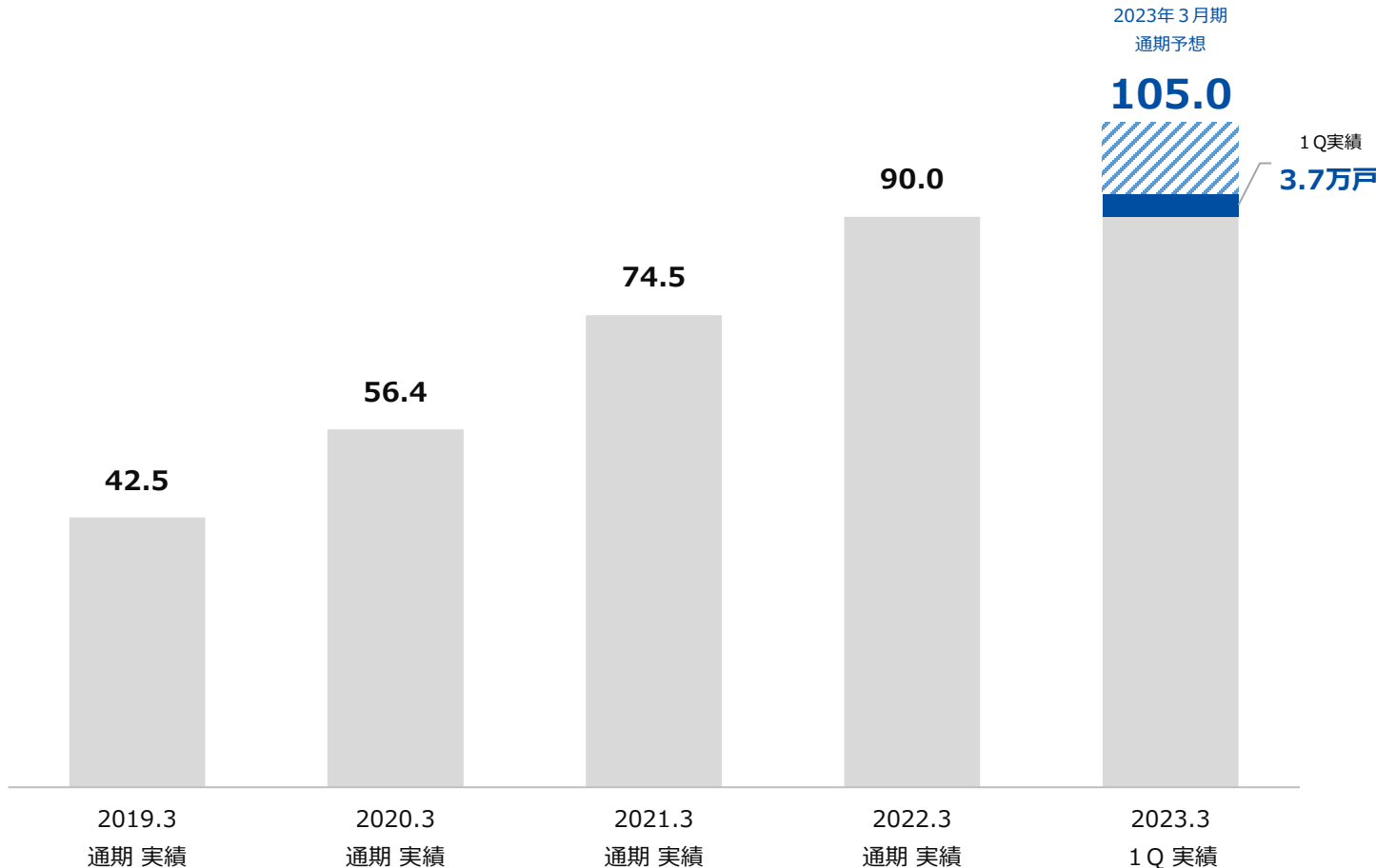
⑥ 集合住宅向けISP 代理店手数料※増	△28 ↑
⑦ 減価償却費（リース資産等）減	△25 ↑
⑧ 販管共通費（外部委託料等）減	△13 ↑
⑨ 原価共通費（人件費・通信費等）増	+25 ↓
⑩ 集合住宅向けISP 保守費用等増	+2 ↓

※前連結会計年度より、代理店手数料を売上処理から純額処理へ変更しております。

集合住宅向けISPサービス サービス提供戸数 実績

重要指標である集合住宅向けISPサービスの提供戸数は、前期末に比べ、3.7万戸増の 93.8万戸と順調にスタート

(万戸)



集合住宅向けISPサービス 提供戸数

累計提供戸数 1Q実績

93.8 万戸

前期末比 **+4.2 %**

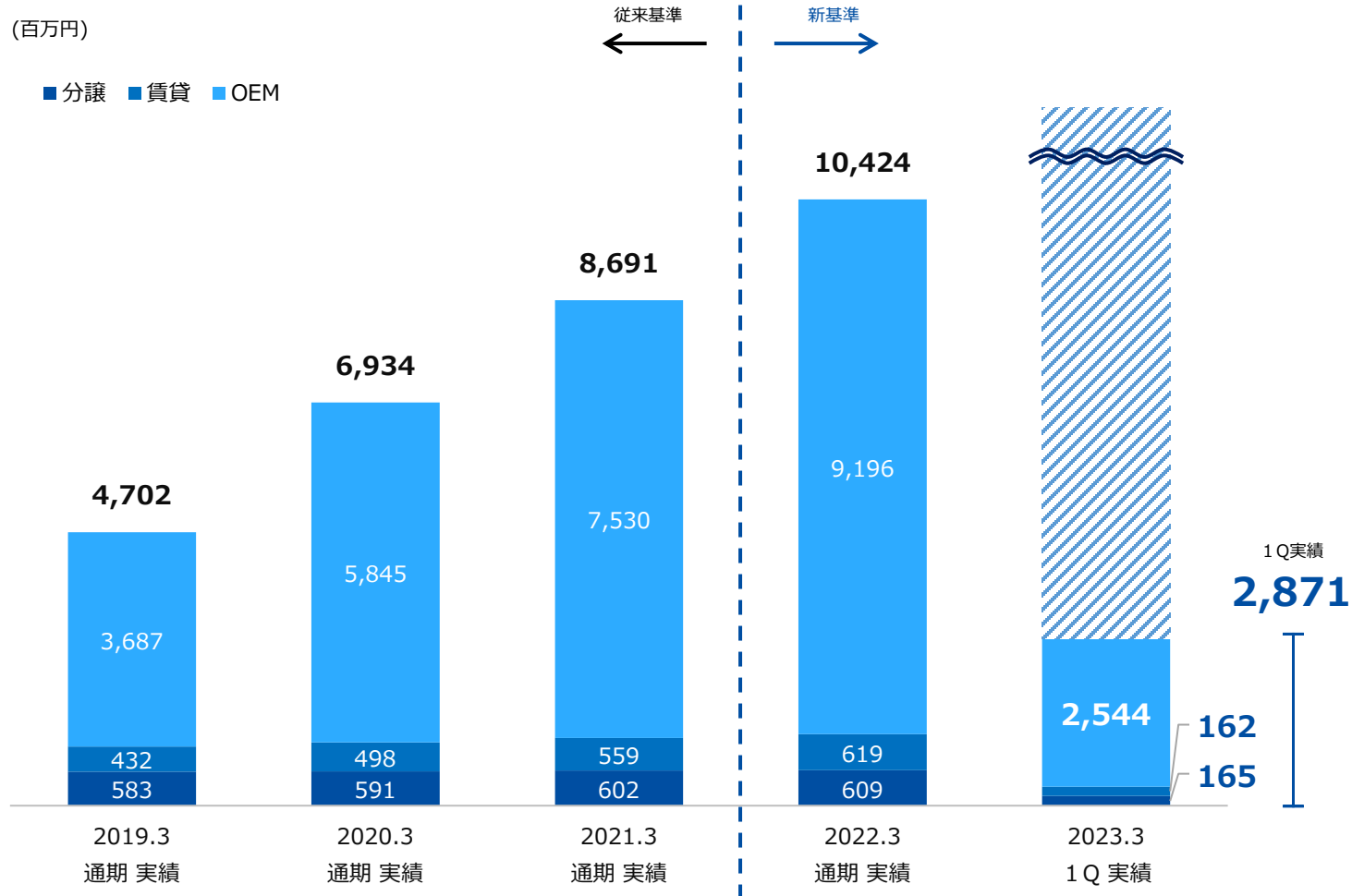
増加提供戸数 1Q実績

+3.7 万戸

通期予想進捗率 **25.2 %**

集合住宅向けISPサービス ランニング収益推移（カテゴリー別）

カテゴリー別のランニング収益は、OEM提供が前年同期比 18.0%増と好調。分譲・賃貸向けサービスも順調に推移



ランニング収益（累計）

2,871 百万円

前年同期比 **+17.0%**

報告セグメント売上高

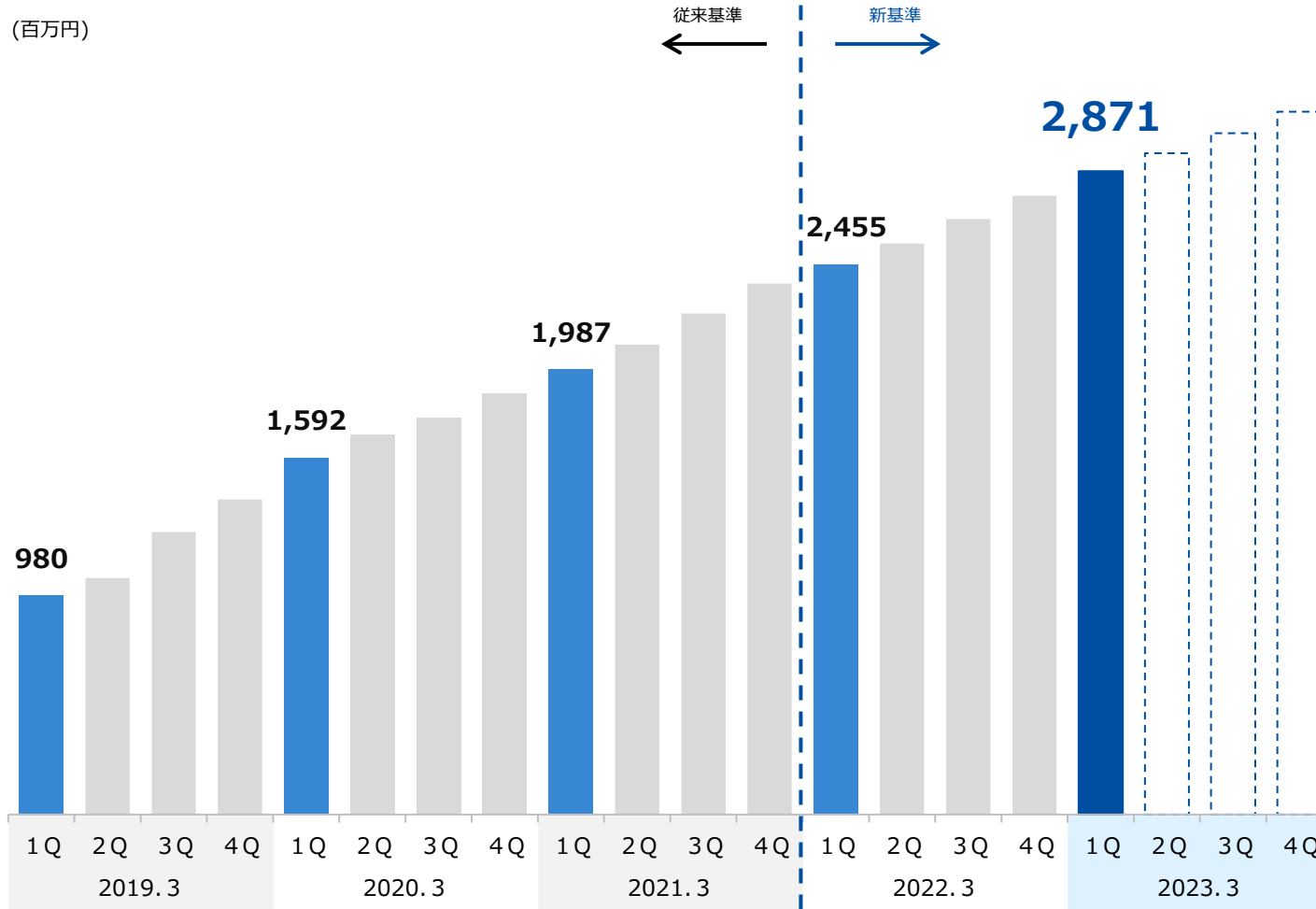
OEM提供 **2,544** 百万円
前年同期比 **+18.0%**

賃貸 (Rent Agent) **162** 百万円
前年同期比 **+11.0%**

分譲 (My Agent) **165** 百万円
前年同期比 **+8.3%**

集合住宅向けISPサービス ランニング収益推移（四半期別）

収益基盤であるランニング収益の最大化を目指し、サービス提供戸数の更なる拡大を図る



ランニング収益（会計期間）

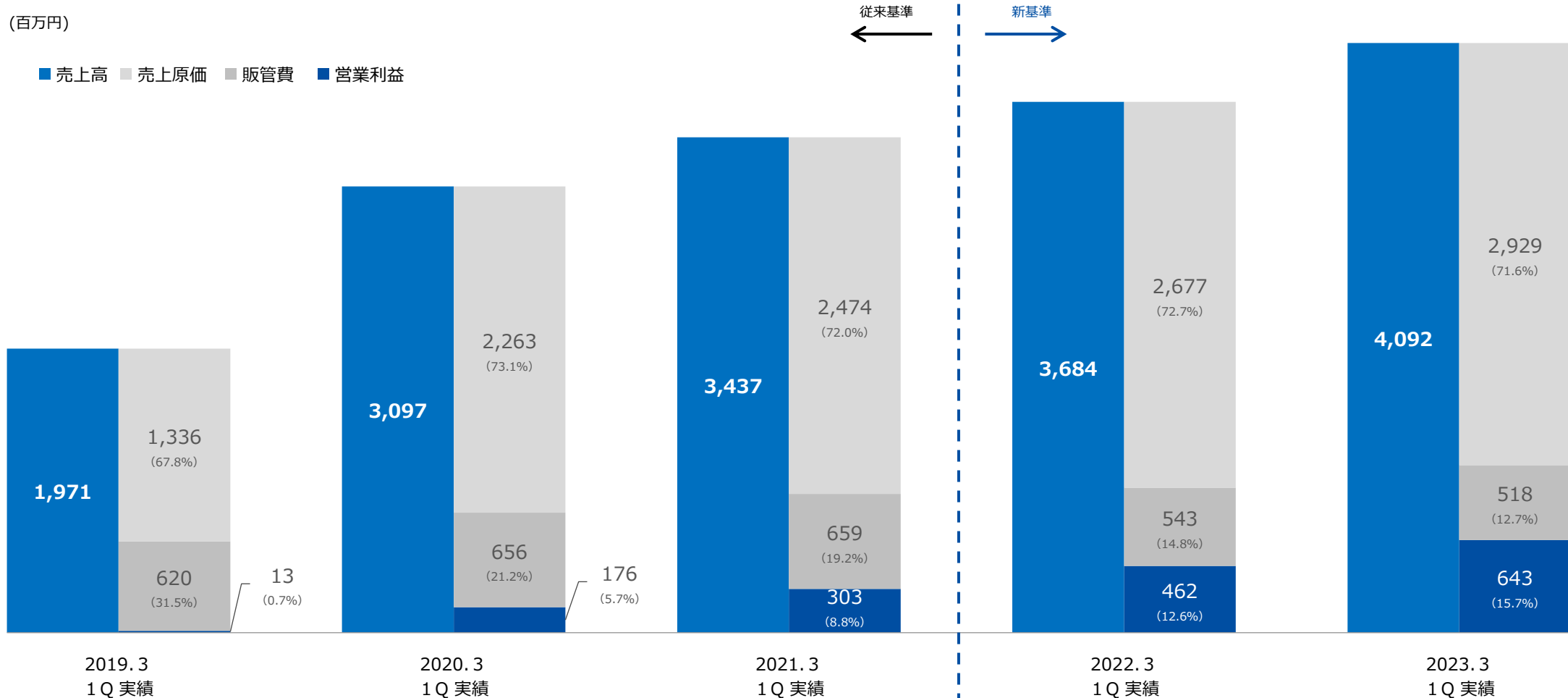
2,871 百万円

ランニング収益 対前年同期

+416 百万円

前年同期比 **+17.0 %**

集合住宅向けISPサービスの好調により、売上高及び営業利益ともに増加



売掛金の減少及び有利子負債の返済等により、総資産 5.8%減、自己資本比率は 4.1ポイント改善

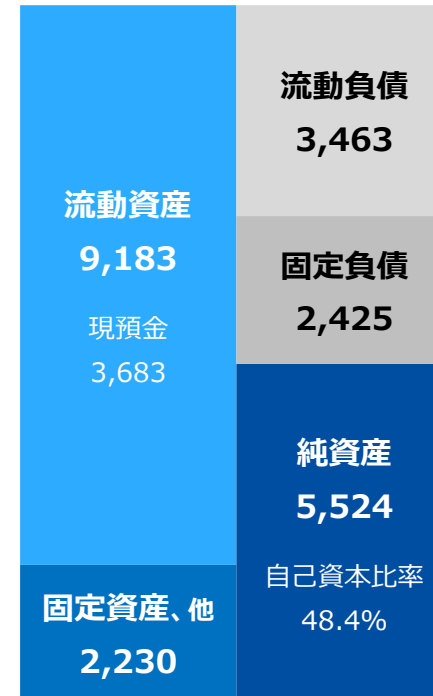
(百万円)

総資産 12,121



2022.3
期末

総資産 11,413



2023.3
1Q

【自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ】

当社は、2022年6月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 自己株式の取得を行う理由

株式市場の変化に対応し1株あたりの価値を高めるとともに、経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の実行を目的としております。

2. 取得の内容

(1)	取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)	取得し得る株式の総数	200,000株(上限) (発行済株式数(自己株式を除く)に対する割合1.35%)
(3)	株式の取得価額の総額	300,000,000円(上限)
(4)	取得期間	2022年7月1日~2022年12月31日
(5)	取得方法	名古屋証券取引所における市場買付

(ご参考) 2022年6月30日時点の自己株式の保有

(1)	発行済株式総数	17,078,400株(自己株式を含む)
(2)	自己株式数	2,266,160株

※詳細につきましては、2022年6月30日公表の「[自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ](#)」をご参照ください。

【開示事項】 自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ (2022年7月4日)

【自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ】

当社は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、下記の通りお知らせいたします。
なお、2021年12月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得は、これもちまして終了いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1.	取得した株式の種類	当社普通株式
2.	取得した株式の総数	43,800株
3.	取得価額の総額	40,463,400円
4.	取得期間	2022年6月1日～2022年6月30日（約定ベース）
5.	取得方法	名古屋証券取引所における市場買付

(参考)

1. 自己株式の取得に関する決議内容 (2021年12月14日取締役会決議)

(1)	取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)	取得し得る株式の総数	330,000株（上限）（発行済株式数（自己株式を除く）に対する割合 2.19%）
(3)	株式の取得価額の総額	500,000,000円（上限）
(4)	取得期間	2021年12月15日～2022年6月30日
(5)	取得方法	名古屋証券取引所における市場買付

2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計 (2022年6月30日現在)

(1)	取得した株式の総数	224,800株
(2)	取得価額の総額	224,486,200円

3. 2022年6月30日時点の自己株式の保有状況

(1)	発行済株式総数	17,078,400株（自己株式を含む）
(2)	保有自己株式数	2,266,160株

※詳細につきましては、2022年7月4日公表の「[自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ](#)」をご参照ください。

【開示事項】 取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ（2022年7月14日）

【取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ（抜粋）】

当社は、2022年7月14日開催の取締役会において、譲渡制限付株式として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2022年8月12日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 5,600株
(3) 処分価額	1株につき967円（※） ※本自己株式処分は、取締役の報酬等として無償で交付されるものですが（会社法202条の2）、公正な評価額として、本日開催の取締役会決議の日の前営業日（2022年7月13日）の名古屋証券取引所における当社の普通株式の終値967円を処分価額としております。
(4) 処分総額	5,415,200円
(5) 処分予定先	当社の取締役（※）2名 5,600株 ※社外取締役及び非業務執行取締役を除きます。

※詳細につきましては、2022年7月14日公表の[「取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ」](#)をご参照ください。

【開示事項】 自己株式の取得状況に関するお知らせ（2022年8月4日）

【自己株式の取得状況に関するお知らせ】

当社は、2022年6月30日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、下記の通りお知らせいたします。

1.	取得した株式の種類	当社普通株式
2.	取得した株式の総数	41,300株
3.	取得価額の総額	40,507,100円
4.	取得期間	2022年7月1日～2022年7月31日（約定ベース）
5.	取得方法	名古屋証券取引所における市場買付

（参考）

1. 自己株式の取得に関する決議内容（2022年6月30日取締役会決議）

(1)	取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)	取得し得る株式の総数	200,000株（上限）（発行済株式数（自己株式を除く）に対する割合 1.35%）
(3)	株式の取得価額の総額	300,000,000円（上限）
(4)	取得期間	2022年7月1日～2022年12月31日
(5)	取得方法	名古屋証券取引所における市場買付

2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計（2022年7月31日現在）

(1)	取得した株式の総数	41,300株
(2)	取得価額の総額	40,507,100円

3. 2022年7月31日時点の自己株式の保有状況

(1)	発行済株式総数	17,078,400株（自己株式を含む）
(2)	保有自己株式数	2,307,460株

※詳細につきましては、2022年8月4日公表の「[自己株式の取得状況に関するお知らせ](#)」をご参照ください。

【次世代通信規格「シングル・ペア・イーサネット」推進団体『Single Pair Ethernet Consortium』へ加入】

当社は、今後の社会のデジタル化に大きく寄与することが見込まれる通信・給電の融合技術「Single Pair Ethernet (シングル・ペア・イーサネット)」の普及を推進するコンソーシアム『Single Pair Ethernet Consortium (SPEC)』に加入いたしましたので、お知らせいたします。

■ SPECへの加入について

SPECが普及を推進する「Single Pair Ethernet (以下「SPE」)」は、4対ケーブルを使用する既存システムと異なり、1対ケーブルを使用するため、省資源化につながる新しい技術です。また、直流給電システムによる省エネルギー化を実現するとともに、多様な電源システムとの連携も可能です。

SPECは、環境性能に優れたSPEを、スマートシステムの基盤技術として街や工場、ビルや住宅等のシーンで利用可能にし、持続可能な世界の実現に貢献することを目指しています。

当社は、2020年にSPEの技術を用いた集合住宅向けインターネット接続サービス「SPES」の提供を開始いたしました。「SPES」は既存電話線を用いるため、既存物件へのスムーズなサービス導入が可能となり、管理会社様やハウスメーカー様にご採用いただいております。

そしてこの度、住まいを中心とした快適で安心・安全な街づくりに貢献する企業としてSPECの趣旨に賛同し、サポーター会員として加入いたしました。

今後は、集合住宅や街での活用に向けた実証実験へ参加するなど、SPEの標準化・普及に向けての取り組みをサポートしてまいります。



Single Pair Ethernet Consortium (SPE コンソーシアム 以下、SPEC) は、IEEE.ISO/IEC 規格を元に各装置・デバイス・ケーブル・コネクタ等で構成された、Single Pair Ethernet と DC 給電システムとしての仕様を策定し、各システムが同じ性能で確実且つ安全に利用できる事を目的に活動します。



SPEC URL <https://e-spec.org/>

「Single Pair Ethernet (シングル・ペア・イーサネット)」を活用した当社サービス
既存物件向けインターネット接続サービス「SPES (エスピーイーエズ)」

<https://www.gigaprize.co.jp/service/spes.html>

「SPES」は、NECネットエスアイ社・Broadcom社と連携し共同開発した集合住宅向けインターネット接続サービスです。

業界が長年課題としてきた、既存物件へのサービス導入にかかる時間的コストなどを縮小し、短期間でのインターネット接続を可能とします。



※詳細につきましては、2022年7月25日公表の「[次世代通信規格「シングル・ペア・イーサネット」推進団体『Single Pair Ethernet Consortium』へ加入](#)」をご参照ください。

【トピックス】 大規模分譲マンションへ ISPサービスを導入 (2022年7月27日)

【総戸数2,090戸の大規模分譲マンション「ワールドシティタワーズ」へ ISPサービスを導入】

－ 独自の技術とノウハウで、大型案件獲得に向けた取り組みを強化－

当社は、東京都港区にある総戸数2,090戸の大規模分譲マンション「ワールドシティタワーズ」に対して、光配線方式による全戸一括型のインターネット接続サービス（以下「ISPサービス」）の導入が完了いたしましたのでお知らせいたします。

■ 大規模マンションに対応する技術と運用ノウハウ

当社は、主に賃貸集合住宅（平均8戸～10戸）向けに、LAN配線方式による全戸一括型のISPサービスを展開しており、OEM提供を中心に、全国で90万戸を超える集合住宅に導入しております。現在は大・中規模集合住宅へのサービス導入の取り組みを一層強化しており、本件は当社の技術と運用ノウハウを結集させた取り組みの一つとなります。

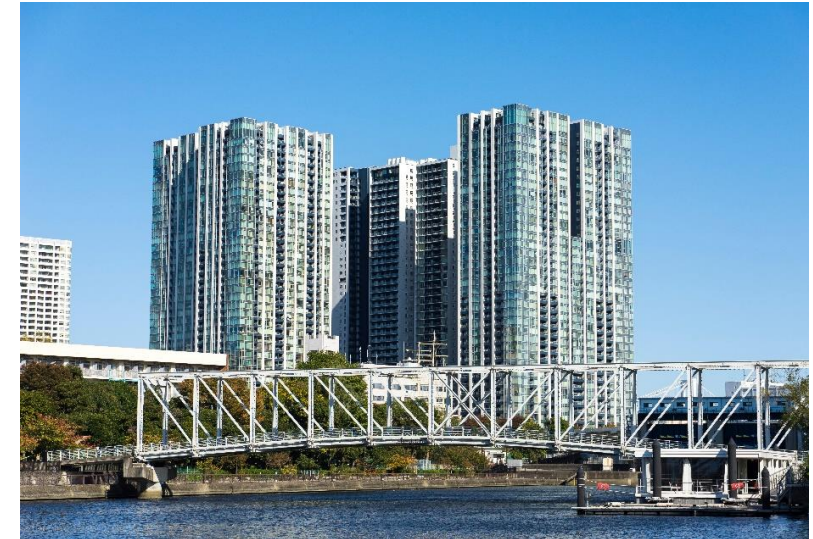
本件では、大規模マンションに適した光配線方式を用いてISPサービスを全戸に一括導入しており、導入後も当社の強みの一つである24時間365日対応のきめ細やかなサポート体制により、入居者様に高品質で快適なインターネットライフを提供してまいります。

■ お客様にとって最適なサービスを追求

当社は、インターネット接続設備の設計、導入工事から保守・サポートまでワンストップで提供することにより、お客様のご負担を減らすとともに、様々なご要望にお応えいたします。

また、自社コールセンターからお客様や市場のニーズを掴み、培ってきた技術力やノウハウを活用し、課題解決型サービス・製品の開発を行っております。

お客様のニーズやライフスタイルが目まぐるしく変化する中、これからも様々な課題を解決するサービスの開発や新たな技術を組み合わせ、お客様にとって最適なインターネット環境を提供してまいります。



ワールドシティタワーズ

※詳細につきましては、2022年7月27日公表の[「総戸数2,090戸の大規模分譲マンション「ワールドシティタワーズ」へ ISPサービスを導入」](#)をご参照ください。

【トピックス】 Wi-Fiネットワークを利用した通信環境を提供（2022年8月1日）

【令和4年度 金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会 Wi-Fiネットワークを利用した通信環境を提供】

－大規模スポーツ大会へ、初のソリューションサービス提供－

当社は、福岡県福岡市で2022年7月22日（金）から7月29日（金）まで行われた「令和4年度 金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会」において、大会運営用の通信環境を提供いたしました。

■独自のノウハウを活かした、当社初スポーツ大会への通信環境の提供

本大会は、会場内で同時に10試合が行われる大規模なスポーツイベントです。各試合の参加者・審判員・試合結果等のあらゆる情報はネットワーク上で管理され、各試合場に設置したモニターにリアルタイムで表示されます。

当社は、ネットワークを利用した大会運営を支えるために、これまで培ってきたネットワーク構築の技術・ノウハウを活かし、有線LANやWi-Fi設備の設計、導入工事、期間中のトラフィック監視を行い、最適な通信環境を提供いたしました。

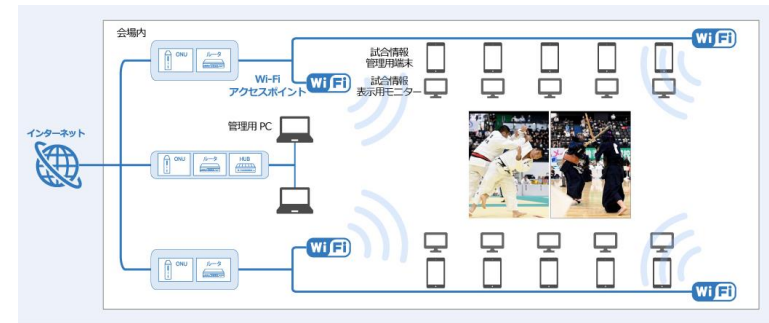
今後も当社は、住まいを中心とした地域への付加価値の創造を目指す企業として、独自の技術とノウハウを活かし、お客様のニーズに合わせたソリューションを様々な領域に向けて提供してまいります。

■金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会について

金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会は、全国から参加高校を募る完全オープン参加の柔道・剣道の大会で5人制の勝ち抜き・トーナメント方式で行われる団体戦です。

毎年、全国各地から約1万人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられますが、令和2年度・3年度はコロナ禍のため両大会ともに中止となったため、今回は3年ぶりの開催となりました。

会場の通信環境イメージ



※詳細につきましては、2022年8月1日公表の「[令和4年度 金鷲旗・玉竜旗高校柔剣道大会 Wi-Fiネットワークを利用した通信環境を提供](#)」をご参照ください。